

まちかど トピックス



■まちかどを彩る芸術たち

11月3日より、市内公共施設やエコール・ロゼで、「富田林まちかどミュージアム」が始まりました。同ミュージアムは、市民や学生の皆さんが制作した絵画や写真を市内公共施設などに継続的に展示し、市民の皆さんに気軽に芸術に親しんでいただくものです。

展示場所など詳しくは、市ウェブサイト（生涯学習課のページ）をご覧ください、ぜひ一度足を運んでみてください。



すばるホールでの展示



■若者たちの声を知る

11月15日、トピック（きらめき創造館）で、市制施行70周年記念事業「若者のためのシンポジウム with コロナ社会の若者の居場所を考える」が開催されました。コロナ禍の影響により教育や就職、働き方などさまざまな環境が急激に変化する中、若者たちが未来のために今何ができるかを話し合いました。オンラインでの参加も含め、若者たちは、「物理的距離を取りつつも人と人とのつながりを大切にしたい」など多くの意見を交わしました。

■女性消防団隊が誕生しました

11月9日、市消防本部で、「女性消防団隊発隊式」が挙行されました。

今回、9人の女性が消防団員として新たに認められ、富田林市で初めての女性消防団員として活動することになりました。

参加した隊員は「災害時には女性にしか分からない困りごとがあると思う。そういう面で皆さんの役に立ちたい」と意気込みを語ってくれました。



写真とともに見る 10月～11月のできごと



SDGs 未来都市
富田林
ACT FOR 2030

エス ディー ジー ス
「SDGs 未来都市・富田林」
のロゴマークができました

本市では、今年7月に「SDGs 未来都市」に選定されたことを受け、本市発のSDGsの取り組みを広く知っていただくシンボルとして、「SDGs 未来都市・富田林」のロゴマークを作成しました。今後、さまざまな場面でロゴマークを活用した普及啓発をし、SDGs 未来都市計画を推進してまいります。

〈コンセプト〉

SDGs 未来都市・富田林のテーマである「いのち」「かがやき」「ひろがり」「つながり（マルチパートナーシップ）」を表現するため、富田林寺内町の旧杉山家住宅のらせん階段から着想を得て、人がつながりあうことで命を育みながら、SDGs 未来都市として富田林市が輝き、広がっていくイメージを込めています。

ACT FOR 2030!

～SDGsとこれからの富田林をみんなで語るローカルダイアログ～

市民や地域の事業者の皆さんと、SDGsの実現に向けて、富田林をフィールドに、「自分たちができること」「みんなで一緒にできること」を考える機会として、ローカルダイアログという手法のワークショップを開催します。

SDGsに興味がある人、地域のためのアイデアをお持ちの人など、ぜひご参加ください。

ローカルダイアログとは

数人のグループでゲーム方式を用いて地域の課題や資源を出し合い、ダイアログ（対話）しながら取り組みアイデアを生み出すワークショップです。

①オンライン参加

とき 令和3年1月20日(水)、午後6時30分～9時30分

※Zoomで実施（インターネット環境と対応機器が必要）。

②会場参加

とき 令和3年1月24日(日)、午後1時30分～4時30分

ところ Topic (きらめき創造館)

対象者 16歳以上の市内在住・在勤・在学の人または富田林市出身者

定員 ①10人、②20人

※参加にあたっての報酬・交通費の支給はありません。

申し込み 12月21日(月)までに、市ウェブサイト（政策推進課のページ）の申し込みフォーム（右上図のQRコードからもアクセスできます）またはEメール、ファクスで、参加希望、参加方法（①オンラインもしくは②会場）、住所、氏名（フリガナ）、生年月日、電話番号、参加理由、富田林の印象を明記し、政策推進課〔(内線515)・Eメール plan@city.tondabayashi.lg.jp・FAX (20)0200〕へ（申し込み多数の場合抽選）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施方法の変更や中止する場合があります。

申し込みはこちら！



問い合わせ 政策推進課（内線515）